

Message -

真のニーズに応え

独創的な技術をもって

広く世界に貢献する



NEEDS ORIGINALITY EXPANSIVE





NEOREXという社名は、「真のニーズに応え、独創的な技術をもって、広く世界に貢献する」という創業の思いを込め、 NEEDS、ORIGINALITY、EXPANSIVEという3つの単語の最初の2文字を取って名付けられました。

# NX2030VISION

「人を幸せにするIT企業」として知られている。 マネされる会社になっている。

600,000 kintaimirai Users 80

800,000

**NEOREX Members** 

**Tablet Time Recorder Users** 

Yes

がんばる!

Yes **Global Activity** 

**New Business** 



成長に見合うチャンスによって、このサイクルが どんどん加速していくことをネオレックスは知っています。

「質実剛健」のもたらす安心感と、「最先端」のワクワク感。 掛け合わせることで生まれる、相乗効果を目指しています。

## ネオレックスは… neorex is...

ネオレックスは、高い技術を持ったモノづくりの会社です。

独自技術、自社製品にこだわり、自ら企画開発した製品を世の中に提供しています。

キンタイミライ、タブレット タイムレコーダー、MyStatsという3つの事業は、いずれも 多くのメディアで取り上げられ、様々な賞も受賞しました。私たちは地方の小さな会社 でも、高い技術力と強い想いによって、世界で活躍できると確信しています。

ネオレックスは、少しマニアックで面白いことが好きな会社です。

本業では非常に高度なオンメモリデータベースを自社開発。他にも専用のプリント基 板を起こして社内のLED蛍光灯を自作したり、開発フロアの電源を直流化してみたり もしました。

ネオレックスは、チャンスにあふれた会社です。

本気のやる気があれば、誰もがあらゆることにチャレンジできます。

一生懸命モノづくりをして、それをお客様が喜んでくださる。

そんな「ツクル喜び、役立つシアワセ」を追及するのが、私たちネオレックスです。



CEO 駒井研司

社長 駒井拓央



創立35周年記念イベント 琵琶湖「ビアンカ」の一泊クルーズ

子供たちも参加して、みんなでお祝いを しました。私たちはネオレックスを1つ の大きな家族のように思っています。

## 日本でいちばん大切にしたい会社

2017年受賞











Tablet Time Recorder

kintaimirai



NX熱田神宮ビル





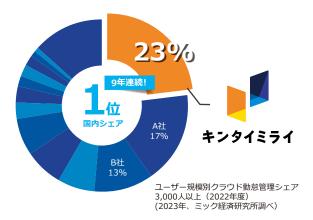
NX神楽坂ビル



## クラウド勤怠管理システム キンタイミライ(旧バイバイ タイムカード)

## キンタイミライ

#### キンタイミライの実績



無理ですって 絶対におっしゃらない ですよね(笑)

「こんな実現方法はどうですか?」 という姿勢で、解決方法を一緒に 考えてくれます

取り組んでくれる 特別な存在です

ちょっと話題になったことでも、必ず調べたり 考えたりしてくれる。そしていつも

レスポンスがとても早い

西武グループの勤怠管理を良く理解した上で、

「システム用語」ではなく「業務用語」で話してくれます





GOLWA INU



Prince



ALDI COFFEE FARIV













ヤマト運輸













#### キンタイミライの特徴

#### 「圧倒的に柔軟なカスタマイズ対応」

お客様1社1社にあわせた、柔軟なカスタマイズが可能です。

会社ごとに働き方や運用は大きく違い、「雨の日・台風手当」や「リフレッシュ休暇」、「法定 より厳しい時間外時間の管理」など、その会社独自のルールがあることも少なくありません。 キンタイミライは、他のシステムではできないような細かいところまで調整できるシステムで す。システムと勤怠管理を熟知した専任コンサルタントが、お客様のニーズをヒアリングし、カ スタマイズすることで、「ニーズにピッタリで最も使いやすいシステム」を実現しています。

#### 「高い技術力」

お客様のニーズによっては、現在の仕組みでは、ご要望をそのまま実現できない場合もあ ります。そのとき、専任コンサルタントが運用とあわせてご提案することで、ご要望を実現する 以外にも、キンタイミライに新機能を開発することで、対応させていただくこともできます。





他にも例えば、動作速度の面では、お客様に快適にシス テムをご利用いただくため、専用のオンメモリデータベース を開発しました。その結果、システムの平均応答速度は 0.02秒を実現し、締め作業でアクセスが集中する月末月 初でも、ストレスなくシステムを操作できます。

#### 「自社企画・自社開発」

これらのキンタイミライの特徴は、設計・デザイン・開発 から提供・サポートまで、こだわりを持って、すべて自社で 行っていることで実現されています。

#### 大切にしている考え方

#### 「ありがとうをいただくビジネス」

システムを買い取る場合、「これからよろしくね」「期待していますよ」という 将来に向けた期待値で、初めに大きな金額が支払われます。極端な話、その システムがその後すごく役に立っても、そうでなくても、その金額は変わりま せん。

それに対してクラウドサービスは、毎月のご利用分だけ料金をいただきま す。これは、お客さまから「今月もありがとう」と支払っていただける、サービ スを利用した結果への対価です。

この「ありがとう」が収益になる私たちは、「ありがとう」を継続的にいただ けるよう、つまりずっとお客さまに喜んでいただけるよう、がんばり続けます。 クラウドサービスは、目の前のお客さまに気持ちよく使い続けていただける と収益が上がる、とても幸せなビジネスモデルだと、私たちは考えています。

#### 「メンバーともお客様とも、ずっとつきあっていける会社」

ネオレックスはメンバーを家族と考え、新卒から定年まで、生涯つきあっ ていける会社でありたいと思っています。

一方、IT業界は人材の流動性が高く、数年ごとに仕事を変える人も少なく

ではユーザーさんから見たとき、数年で転職するつもりの人が開発するシ ステムと、一生関わるつもりの人が開発するシステム、どちらが安心でしょう か。おかげさまで2023年現在、キンタイミライは10年以上ご利用いただい ているお客さまが全ユーザー企業の3割を超えています。

私たちは、お客さまともメンバーとも、短期視点ではなく、永くよい関係を 継続できる会社でありたいと考えています。

#### 勤怠管理システムとは?

勤怠管理システムは、働く人の勤務状況を把握し、管理するた めのシステムです。

具体的には、勤務開始時刻と終了時刻を記録し、会社のルー ルに基づいてこれを集計、残業の把握や、給与計算のためのデ ータ作成などを行います。

昨今、2019年から始まった働き方関連法の整備により、勤怠 管理システムのニーズはさらに高まってきました。 例えば残業の上限規制は、単月の集計だけでなく、直近2ヶ月、

3ヶ月、4ヶ月、5ヶ月、6ヶ月のそれぞれの平均値が、いずれも80時 間を超えることがないよう、管理する必要が出てきています。

また、フレックスタイム制度では、11時間働く日もあれば5時間 だけ働く日もあるという選択肢が生まれました。

勤怠管理システムは、こういった規制や制度の実現をサポー トし、働く人の健康を守ると共に、様々な働き方を選択できる社 会の実現に、貢献することができるのです。



# 働く人を笑顔にする

タブレット タイムレコーダー

タブレット タイムレコーダーは、iPadをタイムレコーダーにするアプリです。従来のタイムレコーダーよりも 便利で、楽しく、またクラウド勤怠管理システムよりも安価。特に小規模な事業者にとって使いやすい ソリューションとして開発しました。





企業における給与計算向けの勤務実績の集計をきめ細かな設定で自動化できるなど、プロ向けの実用品としての性能を備えつつ、毎日の写真撮影 や各種のグラフ、ビデオメッセージ、天気予報など、従来のタイムレコーダーにはなかった新しい発想の機能を加えることにより、タイムレコーダー にイノベーションを起こすことを目指しています。



写真やグラフで直感把握



思いが伝わるビデオメッセージ



全体状況は合計データで



リアルタイムにメールで速報



出入口付近にiPadを設置して利用

## What Users Say

毎日写真を撮るので、前より化粧や服装、表情など気に するようになりました。すると、気分も明るくなってきました。 (システム開発)

夜勤担当から翌朝への引き継ぎ連絡、以前は図を描いたりで 大変だったけど、ビデオメッセージでとても簡単になりました。

勤怠の集計作業はとても面倒だが、大きな費用はかけられな いと諦めていました。でも、この値段ならシステム化できます。 (IT·設備業)

## 目指したのは、タイムレコーダーの再発明







#### 非クラウドの限界への挑戦

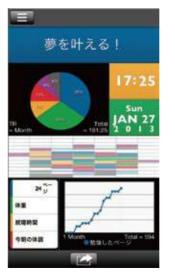
近年、日本の企業においてもクラウドサービスが急速に普及しています。私たちネオレックスも、2000年からクラウド方式のサービスを提 供しており、クラウドのメリットを熟知しています。しかし一方で、何でもかんでもすべてがクラウドになるべきではないとも考えています。 そこでタブレットタイムレコーダーでは、非クラウドの限界に挑戦しています。クラウドサーバーを介さず、月額費用も発生しない方式で、 どこまでの機能と便利さを提供できるのか。とても楽しいチャレンジです。



## 自己管理のためのiPhoneアプリ **MyStats**

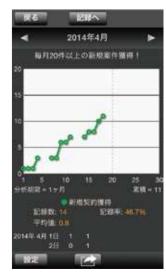
MyStatsは、自己管理のためのアプリです。自分の活動を記録し、グラフなどで分析できます。仕事 の効率化、受験勉強、楽器の練習、英会話、ダイエット、トレーニング…。世界中で、様々な人が、様々 な目的でMyStatsを利用しています。

MyStatsは、人が夢を叶えるお手伝いをするために開発されました。









世界100ヵ国、27万人以上がダウンロード

#### Interview 💦

## ネオレックス技術陣の ツートップ、二人の中村

#### 回路大好き少年からスゴ腕プログラマへ

裕樹 当時で言う「ラジオ少年」というか、「回路大好き少年」でした。きっかけは、学研の科学本とNHKの電子工作番組。好きになりだした頃、カメラとオーディオ好きの叔父さんが大須に連れて行ってくれて、半田ごてや半田などを買ってくれました。小学校5年生だったと思います。

**健児** 僕も学研の科学本がきっかけだったかな。 同じく5年生の頃。ただ、ブロック崩しなんかのTV ゲームが大好きで、「どうやって作るんだろう?」と 思っていたのは小学校1年生の頃から。雑誌を読み 始めて、同路作りに夢中になりました。

裕樹 「初ラ(しょら)」と「ラ製(らせい)」ね(笑)

健児 そう、「初歩のラジオ」と「ラジオの製作」。雑誌についてくるマスクパターンを基盤の上に貼って、押入れの中に入って蛍光灯をあてて。でもすごく時間がかかる。「なかなか焼けんなぁ」とか言って1時間以上押入れにこもったりして。基盤をエッチングした時はエッチング液の処理に困りました。容器には、「劇薬のため、決められた適切な処理をするように」みたいなことが書いてあるけど、「適切な処理」が分からなくて(笑)結局ガソリンスタンドに持って行ったら引き取ってもらえて、その後はそのスタンドに涌いました。

裕樹 中学に入るとそろそるPCに関心が移っていきました。PCを持っている友達の家に入り浸ったり、大須に行って店頭のPCを触ったり。当時はなかなかPCを触れないから、やってみたいこと、試してみたいことをノートの上にプログラミングしておいて、チャンスがあれば一気に打ち込む! 柔道部員でしたが、練習後に毎日、SHARPのMZが置いてあった「自然科学部」に遊びに行ってました。

**健児** で、すぐにBASICが嫌になって、マシン語を始めるんですよね。BASICは動きが遅くて、ゲームを作っても全然面白くない。

裕樹 当時マシン語でプログラム書くの大変だったなぁ。紙の上でアセンブラでプログラミングし、ハンドアセンブルしてバイナリコードを作ってPCに打ち込んでいくんだよね。メモリの番地を1つ数え間違えるとほとんど全部書き直し、みたいな。それを数千行書いてシューティングゲームなんかを作っていました。ノートにね。主に授業中に(笑)

**健児** 高校時代はもうプログラミングに夢中で、大学に入る頃には結構色々出来るようになっていました。どこかの会社から依頼を受けて、ちょこちょこっとプログラムを書いたり。そのうちゲーム会社から依頼を受けて、ゲーム開発を始めました。フリーのプログラマを集めてチームを作り、ゲームを丸々1本自分たちだけで開発したこともありました。チームのメンバで学生は僕だけでしたが(笑)

裕樹 僕は大学に入ってからは、某大手システム会社の系列でアルバイトをしました。主に業務系ソフトの開発で、コード1行いくらという仕事。家に持ち帰っても良かったので、2千行くらいのプログラムを一晩で書いて、「もう出来たの?」なんて驚かれたりして。

健児 報酬は随分良かったですよね。学生ではあり



得ないような収入があった。

**裕樹** そう。プログラマにとってはそういう時代だったよね。でもさすがに学業に支障が出てきて…

#### ネオレックスとの出会い

**裕樹** 普通の時間に普通に仕事が出来るバイトを探していて、ネオレックスに出会いました。

**健児** 僕も全く同じです。ネオレックスに来るようになった時期も、裕樹さんとほぼ同じ頃。ここで裕樹さんに出会いました。

裕樹 お互い、なんとなく存在は知っていたよね。 名古屋に中村っていうプログラマがいるな、みたいな。

健児 そうですね。苗字一緒だし(笑)

裕樹 ネオレックスは当時、教育委員会からの依頼 などで教育用のソフトウェアを開発していました。主 に小学生向けで、算数を教えるソフトとか。すでにプログラミングは出来たし、会社は仕事を任せてくれるので、どんどんプログラムを書きました。

**健児** 教育委員会の先生達が企画するソフトウェアに、ゲーム的な要素を加えて、処理を高速化してサクサク動くソフトを作ったので、とてもウケが良かったですね。グラフィック系などの当時社内にあったライブラリは、どんどん作り直しちゃってました。

裕樹 一方で当時ネオレックスでは、独自開発のマイクロバーコードを読み取る自社製のバーコードリーダーの開発が始まっていました。社外ブレーンがたくさん来ていて、色々な取り組みがされていて。僕も子供の頃以来のハードウェアとの関わりに盛り上がって、会社にズラリと揃っていた「トラギ(雑誌、トランジスタ技術)」を読み漁って勉強しました。この頃からしばらくは半田ごてとオシロとアセンブラの日々になりました。

**健児** 結局熱中して、「普通の時間の普通の仕事」 にはならなかったんですよね(笑)

#### ネオレックスへの入社

裕樹 バイト勤務をする中で、ネオレックスに入社 することを決めました。理由は色々とあったと思いますが、一番の理由は「社長」(※現、会長)です。「基本的に好きにやって」という社長の方針がとても嬉しかったし、何にでもチャレンジしようとする姿勢が好きでした。

結局、社長という人そのものに魅力を感じたんだと 思います。

健児 僕も同じですね。社長の個性から生まれてきたネオレックスの方針や姿勢がとても良いと思いました。一言で言うと、「頼らず、がんばる」ということでしょうか。新しいことにどんどんチャレンジする。新しいことなんで先人はいなくて、誰も何も教えてくれない。だからがんばって試行錯誤する。

それがスキルアップにつながっていく…というのがネオレックスという会社の取り組みだと思いました。

社長は、とにかく何でもすぐに挑戦しちゃうんですよね。普通ならちょっと考えてみようかなみたいなことが、社長の場合、「あ、もうやっている…」みたいな。ここに、「破壊力」のようなものすら感じました(笑)

一 他社からの熱烈なスカウトなどもある中で

ネオレックスへの入社を決めた二人。裕樹さんは 入社直後の春、ネオレックス初の自社ブランドオリジナルICとなる「NX1」の開発担当となり、畳程も ある巨大な回路図の設計を行いました。一方の 健児さんは、ソニーのPlay Station担当者をも唸らせる知識と熱意を持って「ゲーム開発はしない」 という社長の方針を覆し、新卒1年目にして20人 以上のチームを率い、ネオレックス最初で最後(?) となるゲームソフト「コズミックレース」を世に送り

という社長の方針を覆し、新卒1年目にして20人以上のチームを率い、ネオレックス最初で最後(?)となるゲームソフト「コズミックレース」を世に送り出しました。 今やネオレックス技術陣の不動の「ツートップ」となった裕樹さんと健児さん。当時二人が魅力を感じたネオレックスと駒井社長の方針やスタンスは、今ではこの二人によって受け継がれ、進化を続けています。

国内最高レベルを誇るキンタイミライの信頼性や 柔軟性、超高速の動作速度も、こんな二人の中村 を中心とした、技術をこよなく愛し、また自立と自 由を求めるネオレックスの技術陣が実現していま す。



中村裕樹 1992年入社。ネオレックス技術グループリーター。H/WからS/Wまで、広大な守備範囲を誇る。



中村健児 1993年入社。開発チーム サブリーダー。先の先まで見越した設計に定評を持つ。「バグなし健児」の異名も。

## フランス文学からITの世界へ

#### この人達と同じところにいていいのか? という不安

IT業界に飛び込んだきっかけは、「新・電子立国」というNHKの特集でした。ソフトウェアの世界を紹介した番組で、コンピュータは「人の成長を加速する仕組み」であり、そこは「道具が日々発明されていく世界」だと聞いて、何だか感動してしまいました。そして、全く未知のこの世界に挑戦してみたい!と思ったんです。大学の専攻は仏文学だったんですけどね(笑)

しかし、ネオレックスに入社してすぐに困ってしまいました。裕樹さん、健児さんはすでに国内でもトップクラスの技術者。入社間もない別の先輩もすでにバリバリ開発をしていて、「この人達と同じところにいていいのか?」と日に日に不安が大きくなっていきました。そんな中である時「テスト」という仕事を担当したことが、僕にとっての大きな転機となりました。

#### 入社2年目、勉強をしよう!

当時のテスト業務は、言ってみれば、「プログラムの書けない人でも出来る仕事」というものでした。プログラマが開発・動作確認したソフトを、色々と触ってみて一応確認するという程度の位置付けです。

実際テストを担当してみると、問題=バグはそれなりに見つけることが出来ました。ソフトウェアを実行し、あれこれと操作をしていると何か問題が見つかります。でもテスト担当を続けていくうちに、「動かせば出る」というだけではいけないのではないかと考えるようになりました。

そこで少し調べてみると、ソフトウェアのテストにも「技術」があり、様々な考え方や手法があることが分かりました。

勉強をしよう!と決めて、選んだ本は日科技連(日本科学技術連盟)のシリーズ本でした。分厚い、5冊くらいに分かれたものです。平日は時間が取れないので、土日どちらかの午前中は勉強!と決めて、本を持って図書館に通いました。結局この図書館通いは入社2年目から結婚するまで、4年間続きました。

#### 気が付けば、「品質管理チーム」の リーダーに

勉強は、実務にすぐに役立ったというわけでもありませんでした。「学問としては分かるけど…」という内容も多く、どう実務に落としていくのかは自分次第。今思えば、ソフトウェアテストというものの事例情報がまだ十分に普及していない時代だったんですね。

それでも、成果は少しずつ出てきました。きっちりと、一生懸命テストすることによって、プログラマもそれに応えてくれるという手応えを感じるようになったんです。同様の問題の再発を防ぐプログラミングの仕方など、テスト側からの働きかけで検討されるようになりました。この頃には、「なんでこういうバグが出ちゃうの?」と、生意気にプログラマに文句を言っちゃったり(笑)

当時、ネオレックスにやってくる「プログラムの書けない人」は、まずはテストを担当するようになっていました。こういったテスターは、各プログラマについていました。でも徐々に、こうしたテスターが僕のところ



**佐原孝仁** 1998年入社。品質管理チーム リーダー。 現在はテストの自動化や加速度的テストなどの確立に 取り組んでいる。

に集められるようになりました。こうしてネオレックス内に、「品質管理チーム」というものが生まれたんです。個人的には、技術を用い、体系化したテストを行うという取り組みが認められていった結果かな?と自負しています(笑)

ーーコンピュータに関する知識を一切持たずにネオレックスに飛び込んで来た佐原さん。入社当時は大きな不安を感じていたとのことですが、今では第一線で活躍する技術者となりました。そして佐原さんが生み出した「品質管理チーム」は、ネオレックスの中核チームの1つとなっています。

そんな佐原さんには、アスリート(?)としてのもう1つの顔も。テレマークスキーや自転車が大好きで、週末早朝にはサイクリングを楽しんでいるとか。1回あたりの所要時間は3時間。走行距離は100km。妻と3人の子供が目覚める頃に、何食わぬ顔で帰宅するのだそうです…。

## すごい人達がいる、素敵な会社

#### 武井さんに聞いてみた!

#### ----- ネオレックスには、例えば、どんな 人がいる?

まず、みんな技術や機械が大好きですね。PCと周辺機器はもちろんのこと、スマートフォン、カメラ、車、バイク、ラジコンなどなど。この人はこれが好き、というよりは、結構、あれもこれもみんなが好き、みたいな感じです。

そして、こだわりがすごいですね。カメラ好きがレンズの議論を始めたらキリがないし、車やバイクに自分で手を入れちゃう人も多いし、レースをしていた人もいるし。ラジコンで全日本チャンピオンの人もいるし、そのヘッドフォンいくら?って聞いたら、「え、13万」みたいな人もいるし(笑)

それからもう1つの特性が、「やってみちゃう、作っちゃう」っというところでしょうか。開発チームは、ACアダプタが嫌だと言って社内の一部電源を直流化してしまいましたし、小型PCの活用のためにお膳みたいな専用の台を作った人もいるし。そもそも会長は30年位前に数十枚の基盤・回路を手作りしてパソコンを作ったという人だし、最近もLED蛍光灯を自作して社内に設置したりしてますしね。

っで、そんな話ばかりかと思うと意外にスポーツ好きが多い。自転車、テニス、ヨット、ラグビーにスキー・スノーボード。スキーはテレマークスキーというちょっとマニアック(?)なタイプの愛好家が多いです。それから音楽好きも多いですね。

性格的には、抜群のコミュニケーション能力を持つ人もいれば、口下手の人がいたり、コツコツと超長期戦で行くのが得意な人がいれば、短期集中型の人がいたりと色々ですが、結局、こだわりが強くて、それなりに自信があって、やるからにはとことん、みたいな性格がネオレックスメンバの共通した傾向なんだと思います。

#### ―― ネオレックスって、どんな会社?

自分で考えて動ける、そういう場を提供してもらえる会社だと思います。やる気と実力さえあれば何でも任せてもらえる。未知の世界でも挑戦させてくれる。若手であってもバイトであっても、というところがまたすごいですよね。

それからネオレックスは、「小さな会社であることのメリット」をすごく活かしている会社だと思います。 社内に知らない人は誰もいない。誰かが何かを発信すればみんなが聞くことが出来て、すぐにそれに基づいたアクションを起こすことが出来る。誰が言ったにせよ、その声はみんなに伝わります。これは、社内の体制や雰囲気が注意深く調整されているからなのかなとも思います。

こういう雰囲気のネオレックスの中に、紹介したような様々な人達がいて、得意なところを持ち寄って、仕事をする。結果として、いつも自分の能力よりも少し大きな仕事が出来ているなと感じます。そして自分の能力よりも少し大きな仕事をすると、自分がどんどん成長していくことを感じます。社長考案の「がんばる→レベルアップ→もっと面白い仕事」という図式の



武井俊輔 2001年入社。コンサルティンググループリーダー。勤怠管理のシステム化に関する知識と経験は圧倒的で、気が付けば国内トップクラスの専門家に。

#### まんまですね(笑)

それから最後に、ネオレックスのいくつかのポリシーが個人的には好きです。例えば「指示」という言葉を使わないとか。たとえ社長からバイトに対してであっても、何かをしてもらう時には「指示」ではなく、「依頼」という言葉が使われるんですよ。 これも1つの、こだわりですね。

一 お客様の要望を詳細にインタビューし、キンタイミライをお客様ので要望に沿った状態に組み上げて提供するというコンサルティングチームの仕事は、キンタイミライ事業の要です。その仕事を、キンタイミライ誕生以来ずっと手掛けてきた武井さん。多くのお客様にとっての「Mr. キンタイミライ」という存在です。武井さんのスキルと経験、そして常にお客様の立場に立って一生懸命考えるというスタンスと人柄が、キンタイミライを支える大きな柱の1つとなっています。

#### 8 Facts

#### 杉原 進哉

技術グループ 開発チーム 2011年入社 東京大学 理学部 物理学科



#### 大学では何を?

修士課程では、素粒子物理学を学び、Belle II実験(加速 器を用いた実験)のための研究に関わっていました。 学問以外では、管弦楽サークルに参加し、チェロを弾いて いました。

#### なぜネオレックスを選んだ?

企画から開発、販売まで全て自分たちで行っている点に 魅力を感じました。また、面接時に聞いたLED蛍光灯自 作の話が実に楽しそうで、入社すれば面白いことが起き るんじゃないかと感じました。

#### 入ってみて、ネオレックスはどんな会社だった?

とても楽しく仕事ができる会社でした。日常の仕事でも、 上下関係をあまり気にせず意見を出し合うことでより良 いモノづくりをしようという雰囲気があり、のびのび仕事 ができます。また、仕事内外で時々行われる電子工作も楽 しいです。(すっかりハンダ付けがうまくなりました。)

#### 今はどんな仕事をしていますか?

iOSアプリの開発、C#やjavascriptを利用したWebアプ リケーションの開発を行っています。

#### 天筒 智也

技術グループ 開発チーム 2015年入社 名古屋大学 理学部 物理学科



#### 大学では何を?

宇宙物理学を学び、天文衛星の生の観測データに処理 を施して、科学的議論が可能な状態にする研究をしてい ました。趣味では、ゲームを作ってコンテストに応募して、 賞をもらったりしてました。

#### なぜネオレックスを選んだ?

「アプリの機能1つ1つに、ユーザーのためのこんな工夫 が込められているんだよ」と熱く語る現CEOと会い、「こ んなソフトをつくる会社は、楽しいところに違いない」と確 信しました。

#### 入ってみて、ネオレックスはどんな会社だった?

皆が仕事熱心で、一方で個々人の都合もちゃんと考慮し てくれる、大学の研究室のような雰囲気で、楽しく開発に 取り組めています。

#### 今はどんな仕事をしていますか?

タブレット タイムレコーダーを始めとしたアプリのデザイ ン、コーディング、テストなどをしています。

#### 岩本 康平

コンサルティンググループ PSIチーム 2017年入社 京都大学 経済学部 経済経営学科



#### 大学では何を?

経済学部で企業評価・投資判断を勉強していました。

#### なぜネオレックスを選んだ?

大手ではなく少数精鋭の会社中心に就活をする中、面接 担当の経営陣が、ネオレックスメンバーの活躍を全員が主 人公であるかのように紹介してくれて、「ここで働きたい!」 と感じました。また、IT未経験で入社した先輩も多数と聞 き、安心感もありました。

#### 入ってみて、ネオレックスはどんな会社だった?

年次に関係なく誰しもが主体的に働けるような社風で、入 社1ヵ月で社内プロジェクトのリーダーを担当できた際に は驚きました。また、自分たちで何でもやることが好きで、 日々新たなことが経験できます。

#### 今はどんな仕事をしていますか?

導入ユニットのリーダーとして、お客様が喜んでくれるシス テムの構築、ユニットの雰囲気づくり、などに想像力をフル 活用しています。パソコンにじっと向き合う日もあれば、出 張をしたり、人とのコミュニケーションがかなり活発な日も あります。(採用、広報…etcなど他にも色々担当中)

#### 川脇 翔伍

コンサルティンググループ PSIチーム 2019年入社 早稲田大学 法学部



#### 大学では何を?

国際法ゼミで国際人道法模擬裁判に出場していました。

#### なぜネオレックスを選んだ?

「今何ができるか」よりも「これから何ができるように なるか」が重要と聞き、IT未経験の自分が入社後にスキ ルを身につけていく姿を想像してワクワクしたからです。

#### 入ってみて、ネオレックスはどんな会社だった?

様々な分野の強みを持った人が集まる、まさに少数精鋭 な会社でした。困ったときの相談もしやすいので、IT未 経験だった自分も学びながら仕事ができています。

#### 今はどんな仕事をしていますか?

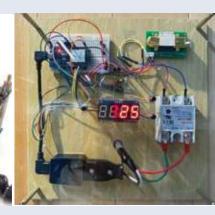
主に、キンタイミライのカスタマイズを担当しています。 お客さまから真のニーズを引き出し、ベストなご提案が できるよう常に心掛けています。社内では、キンタイミライ を自社の勤怠管理に活用するプロジェクトに入社4ヶ月目 から関わっており、残業や年次有給休暇の申請フローを改 善しました。その他、新卒採用、Web広告運用、新人研修 など幅広く携わっています。

#### 色々つくっちゃう

ネオレックスのメンバーは、モノづくりが大好きで す。LED蛍光灯、クイズ用早押しピンポン、本社玄 関の開錠システム、声を掛けられると音量が下が るヘッドホンアンプなど。ネットワークの配線工 事や本社の改装さえも自分たちでやってみまし た。自分たちでやると何より楽しいです。







## 仕事以外でも活躍

プライベートでも活躍している人が沢山います。ラジコンレースで3度日本チャンピ オン、石垣島-台湾間のヨットレース優勝、ロボカップで世界大会出場、オーケストラ 所属のチェロ奏者、目隠しルービックキューブ、書道師範etc. この他にもスポーツ から芸術まで幅広い分野で活躍し、好きなことに熱中しています。



#### 全員で朝礼

創業以来続く朝礼ではメンバー 全員が集まり、それぞれが今日 何をするかを発信します。オン ラインで実施しているため、離 れて働くメンバーとも顔を合わ せる場になっています。



バラエティ豊かな活動

に励む「合格へ続く道」など…

を月に一度開催しています。

有志による楽しい活動が沢山。ヨット

部、テニス部、ボードゲーム部、資格取得

また、最新のIT技術や学生時代の研究、

趣味の話題などを共有する社内勉強会

安心して結婚できるように

お金が障壁にならないように、との願い

から配偶者手当が35,000円、子ども1

人につき子ども手当が最大25,000円、

毎月支給されます。この他にも産休・育

休の取得や時短勤務も可能なため、安

心して結婚することができます。

## 若い時から活躍

入社1年目でシステム導入の主担当になった人、社内プロジェクトのリーダーになった人。 ネオレックスでは、やる気と力のある人にどんどん仕事を任せます。でも、任せっきりにはし ません。仕事はチームでするもの。「部下」「指示」「やらせる」とは言わず、社長から新人へも 「依頼」と表現する。そんな雰囲気の中、若手がイキイキと活躍しています。



### 飲み会も支援

社内外での決起会や懇親会等の際に は、1人あたり1回2,000円が支援され ます。仕事をよりよく進められるように すると同時に、メンバーに楽しみを提 供する、そんな思いが込められていま す。



### 歴史の町から

旧東海道は本社のすぐ横。熱田神宮は 本社から徒歩5分、NX熱田神宮ビルの 目の前。幼少時代の徳川家康が住んで いた場所、源頼朝が生まれた場所もすぐ 近く。そんな歴史の町で、時代の先端を 行くITビジネスに取り組んでいます。



社名 株式会社ネオレックス

事業内容 独自システム・アプリケーションの企画・設計・開発・販売

社長・CEO 駒井 拓央 ・ 駒井 研司

資本金 5,000万円

所在地 **名古屋本社** 名古屋市熱田区伝馬1-4-25 ネオレックスビル

TEL: 052-681-2121 FAX: 052-681-2129

熱田神宮オフィス 名古屋市熱田区神宮3-8-20 NX熱田神宮ビル

神楽坂ショールーム 東京都新宿区神楽坂6-39-4 NX神楽坂ビル

フリーダイヤル: 0120-200-681

Email info@neorex.co.jp

URL https://www.neorex.co.jp

主な出身校 名古屋大学/ 京都大学/ 信州大学/ 名古屋工業大学/ 愛知淑徳大学/ 東京大学/ 東京理科大学

愛知県立大学/ 金沢大学/ 金城学院大学/ 静岡大学/ 椙山女学園大学/ 中京大学/ 東京学芸大学

名古屋市立大学/南山大学/三重大学/名城大学/早稲田大学、他(出身者の多い順)

沿革

1987年 6月 株式会社ネオレックス設立

1988年 5月 洗濯機製造工場向け自動部品供給システム開発・施工

1991年 9月 大学向け教室内全PC画面モニターシステム開発・施工

1992年 4月 マイクロバーコード開発

7月 東京事務所開設

12月 日本ソフトウエア大賞受賞

1994年 2月 アメリカでマイクロバーコードの特許成立(その後日本を含めて7ヶ国で特許取得)

12月 日経BP社発刊書籍「二一世紀企業の見つけ方」で日本の中堅・成長企業100社に選ばれる

1995年 1月 マイクロバーコード、中小企業優秀新技術・新製品賞受賞

1997年 6月 ネオレックスビル完成

9月 多店舗飲食チェーン向け受発注システム納入開始

2000年 6月 関連会社、株式会社ネオセルラー設立

2001年 3月 携帯電話用マイクロバーコードリーダー「Cタッチ i 」開発

2003年 10月 バイバイ タイムカード (現:キンタイミライ)提供開始

株式会社ネオセルラーと合併

2006年 4月 バイバイタイムカード、西武グループ様で採用される

2008年 1月 バイバイ タイムカード、「ASP+SaaS+ICT アウトソーシングアワード 2007/2008」

バックオフィスアプリケーション分野でグランプリ受賞

2009年 10月 バイバイ タイムカード、SPOTY 2009受賞 (ソフトウェア・プロダクト・オブ・ザ・イヤー 2009)

2011年 4月 自己管理のためのiPhoneアプリ「MyStats」提供開始

2015年 7月 タブレットタイムレコーダー提供開始

9月 タブレットタイムレコーダー、グッドデザイン賞受賞

2016年 4月 タブレットタイムレコーダー、中小企業優秀新技術・新製品賞受賞

2017年 3月 本社拡張

「日本でいちばん大切にしたい会社」受賞

2019年 6月 新社屋「NX熱田神宮ビル」稼働

2020年 6月 名古屋大学内に「NEOREX PLACE」完成

新社屋「NX神楽坂ビル」稼動

2021年 3月 創業者、駒井俊之著書「独立志向」発刊

2023年 3月 バイバイタイムカード、9年連続大規模市場国内トップシェアに

8月 バイバイ タイムカードを「キンタイミライ」へリブランディング

